

次代を担う

～青年中央会の会員紹介～

「三重県中小企業青年中央会」は、三重県中小企業団体中央会の会員組合に組織されている青年部を会員としています。

会員相互の連携と組合青年部等の事業活動を強化することにより、次世代を担う指導者の養成を図り、中小企業並びに組合の事業活動促進、企業の振興発展に寄与することを目的としています。

ここでは、青年中央会会員である組合青年部さんをご紹介します。



三
重
県
テ
ン
ト
シ
ー
ト
工
業
組
合
青
年
部
部
長
井
上
武
氏
(いのうえ たけし)



こにゅうどうくんふわふわ

三重県テントシート工業組合 青年部部長である井上武氏は、昭和47年の創業以来、工場の倉庫(シートハウス)からスポーツ競技場、水族館の野外施設等、多種多様なテントシートの製造を行う井上テントの二代目経営者。同社の製品は関東から九州まで届けられています。

井上氏は青年部に加入して23年になります。平成25年に部長に就任後、加入促進に力を入れ、就任時はわずか3名でしたが、現在は、女性も加入し6名になりました。50歳なる来年は、青年部を卒業となるため、任期中に新しく入った3人の育成に力を入れ、青年部をきちんと繋いでもらえるようにしていきたいと話しています。

青年部の役割として情報を収集し共有することが重要と考え、これまで2ヶ月に1回集まる機会を設けていましたが、昨今、お互い忙しいことと、SNSの普及もあってLINE等を利用することが増えたそうです。

今年度は、青年部が中心となり、四日市市のゆるキャラ「こにゅうどうくん」をモチーフにしたエア遊具『こにゅうどうくん ふわふわ』を製作しました。これは、平成9年の四日市市制100周年の際に同じく青年部で製作した物が古くなったため今回、新たに製作したものです。毎回、5～6人が、井上氏の自社に集まり、10日程かかって総勢50人工で完成させた青年部渾身の作品。この活動が、20年後も続いて行って欲しいと願っています。

その他の活動として、資質向上を目的に視察等を行っており、2年前には太陽工業株式会社のタイ工場へ視察研修に行き、原料の反物をテントシートに製造する前の確認工程を見学し、大変参考となりました。

また、上部団体の日本テントシート工業組合連合会青年部会東海北陸ブロックで年に1度開催するブロック大会は、今年度2月に四日市市で開催することとなり、井上氏が中心となって企画した結果、講師をレモン石鹸で有名な、株式会社マックス代表取締役社長の野野子氏に依頼しました。この大会は、将来の組合活動の充実とより一層の業界の活性化を図り、各県の組合員同士が親睦を深める重要なイベントであるため、青年部一丸となって準備に励んでいます。

井上テントは、家族経営で、代表である父親と二人三脚で行っています。実際に、ミシンで縫う工程や、機械で圧着する様子を見せていただきましたが、無言での作業ながらも息がぴったり合ったお二人の手際よさに圧倒されました。テントシートは、基本、生地できているため、しわやたるみを考慮しながら作業することが大切になります。現在は、親子で行っているから、今のスピードで製造できるが、他人だと3倍時間がかかるそうです。

『常に次の作業を考えながら仕事し、相手がどう動くかを予想することが大切。聞いて教わった訳ではなく、長年一緒に作業をしながら、身体で覚えた。プロの職人という思いと自信もある。ただ、昨今はこの職人気質のある人が少なくなってきたように感じる。』と熱い思いを語っていただきました。

プライベートでは、昭和50年代の車が共通のご趣味だそうで、以前に、津北商工会の開催するクラシックカーのイベントにも参加し楽しい一日を過ごしたと、笑顔で語っていただきました。